

ベストクラス選定理由書

作成者：吉川昌慶・上村裕之・石原華音・川内愛心・上野斗真・應供亮生・山田沙織・林大志郎

科目名称	授業における評価の基準作成理論と学力評価法（昼間（①）クラス） (担当教員名：徳島祐彌)		
課 程	： 大学院（専門職）	開講時期	： 後期
授業形態	： 講義・演習	授業規模	： 30人以下
インタビュー対象教員名 徳島祐彌 (実施日時：9月3日； 実施場所：言語棟525室)			
インタビュー対象受講者名 谷水恵太・中村可奈子 (実施日時：8月28日・9月22日； 実施場所：自然棟520室)			
<p>選定理由</p> <p>本授業の目的は、授業における評価の在り方について理解を深めることである。また、授業のねらいとして、講義・演習を通し、受講者が、教育評価に基づいて教育活動を修正・改善するにあたっての手がかりを得ることである。</p> <p>【担当教員とのインタビュー内容より】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・フィードバックを大切に 授業内でのやりとりが難しいので、受講生の質問や感想にコメントを行ない、受講生のモチベーションを向上させている。 ・教育現場のことを念頭において 実際の現場で使えるような評価方法をレポート課題として提出することで、机上で終わらないように配慮されている。 ・他教科、他校種の方とのグループワーク 様々な校種の人と、受講生が作成した評価について話し合う場を設けることで、多角的な視点で検討できるよう設定されている。 <p>【受講学生とのインタビュー内容より】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・担当教員からのフィードバックが良かった 自身の研究にも直結するような内容のコメントもあり、ポートフォリオで双方向的なやり取りができていた。 ・特徴的な「二重の学習」 前半では、理論の話が中心だったが、後半では、自身の課題についてグループワークを通して受講生からのフィードバックをもらい検討できた。評価を受ける学習者としての体験と、評価を考える立場の両方を経験することで、評価が学びを導く力を実感できた。 <p>以上より、本授業を「ベストクラス」として選定する。</p>			